

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	4丁目こども食堂の会
取組の名称	スペース4丁目こども食堂
実施場所	川崎市高津区新作4丁目19-12 田中宅
対象地域	川崎市高津区（新作・末長地域を中心にした近辺地域）
対象地域の特色・課題	南武線武蔵新城駅から徒歩10分余。戸建て・共同住宅が混在。幼稚園・保育園・小中学校・子ども文化センターも近く、子どものいる家庭が多い地域である。 母子支援施設が遠くはない距離にあり、老人福祉センターや市営住宅などの公共施設も近い。
取組の趣旨・目的	2016年に子どもの貧困や、孤食の課題に私たちが出来ることとしてこども食堂を立ち上げた。設立にあたり区や福祉事務所、社会福祉協議会等に相談をして、支援を必要としている子ども（家庭）は点在しているということであった。その後地域のつながりが生まれる居場所としても活動を継続している。
実施内容・実施スケジュール	○前年度から新型コロナ禍で予定通りの活動が出来ていないが、前年より活動回数を増やすことが出来た。 ○弁当でテイクアウトを5回実施した。弁当に寄付物品などを加えて配布した。 ○フードパントリーを3回実施。夏の長期休暇中の留守家庭の子どもを想定し、簡単な手間で食べられるものを詰め合わせてフードパントリーを2回実施した。 ○母子家庭を名乗った参加者本人の賛同を得て、会員メンバーとの交流を2回行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂としての活動はできなかった。 ・弁当（テイクアウト）：5回 単価は200円 弁当に寄付物品等を付けて配布 ・フードパントリー：3回 物品を購入し配布。無料。 1回の量を2・3日分とした。 		
参加者の年代	幼児～中学生 20代～60代	定員 (1回あたり)	約40人
実施頻度	不定期、 約1か月半に1回	活動日数 (年間)	8日
スタッフ体制	8人 栄養士、調理師が中心に献立考案 メンバー全員で準備・調理・参加者対応を担っている。 学生や地域のボランティアの参加もあり、地域の2名が途中入会		
連携する団体・ 連携の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治会 (交流、チラシの掲示や回覧等) ・区見守り支援センター (チラシの配架) ・社会福祉協議会 (チラシの配架) ・末長子ども文化センター (チラシの配架) ・かわさき子ども食堂ネットワーク (情報等) ・むすびえ (情報等) 		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの新型コロナ禍で食堂内での交流はできないが、参加者同士で開催日の情報などを共有して、食堂前でわずかの時間ながら交流している様子があった。 ・弁当は200円と安価にしていることもあってか、短時間で売り切れている。仕事帰りの様子があり、一人2食に限定しているが助かるとのこと。野菜が多い内容も人気のようである。 ・食堂の再開を待つ声が寄せられ、地域の居場所として認識されていることを再認識した。 		